

高効率熱交換換気システム エコエア90

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。

ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目次

■ 重要なお知らせ	1
■ 警告用語の種類と意味	2
■ 特にご注意ください	2~3
警告	2
注意	3
お願い	3
■ 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	4
■ 各部の名称とはたらき	5
■ 操作方法	7
■ お手入れのしかた	9
■ 故障時の処置	12
■ アフターメンテナンスについて	13
■ 保証書	14

重要なお知らせ

ご使用前に

●安全のために、必ずお守りください。

「エコエア90」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。

もし、この取扱い説明書にしたがわず、乱用または誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。



1. この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「エコエア90」のご使用および、お手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2. この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
3. 商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ事項	連絡先	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎0120-413-433
フィルターの購入はこちら	LIXILパーツショップ または お客さま相談センター	ホームページ http://partsshop.lixil.co.jp/ shop/default.aspx ☎0120-126-001

警告用語の種類と意味

※この章では、「エコエア90」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって、次の3段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意味
 警告	取扱いを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷故障等につながる場合があります。

特にご注意ください

(安全のため、必ずお守りください)

警告

換気ユニットに関して

- 絶対に分解修理・改造を行わないでください。
火災、感電、ケガの原因になります。
- ※修理のご依頼は「当社修理受付センター」に、
商品に関するお問合せは「当社お客さま相談センター」へご相談ください。
- 直接水やお湯、洗剤などをかけたりしないでください。
感電やショートするおそれがあります。
- お手入れは、換気ユニットの壁スイッチ（オプション）のON/OFFスイッチまたは分電盤のブレーカーを切り、運転が停止してから行ってください。
※壁スイッチ（オプション）のON/OFFスイッチまたはブレーカーの入り切りはぬれた手で行わないでください。感電やケガをするおそれがあります。
- 電源線を破損させるようなことはしないでください。
傷んだまま使用すると感電、ショート、火災の原因になります。
- 電源線を引っばらないでください。
電源線が接続不良になると火災の原因になります。

壁スイッチ（オプション）に関して

- 汚れた場合はやわらかい乾いた布でふき取り、直接水やお湯、洗剤などをかけたりしないでください。感電やショートするおそれがあります。
- お手入れは、換気ユニットの壁スイッチ（オプション）のON/OFFスイッチまたは分電盤のブレーカーを切り、運転が停止してから行ってください。
※壁スイッチ（オプション）のON/OFFスイッチまたはブレーカーの入り切りはぬれた手で行わないでください。感電やケガをするおそれがあります。

⚠ 注 意

換気ユニットに関して

- 運転中は羽根の中に指や物を入れないでください。ケガをするおそれがあります。
 - お手入れの際は、足元が不安定な台に乗らないでください。転倒などによりケガをするおそれがあります。
 - お手入れの際は、ゴム手袋をお使いください。突起や角などによりケガをするおそれがあります。
 - お手入れ後、部品は元どおりに取付けてください。落下によりケガをするおそれがあります。
 - お手入れ後は、すみやかに運転を再開してください。
- ※ 365日・24時間運転が原則です。
停止したままだと、室内の空気の汚れや結露の原因になります。
- 換気ユニット内のフィルターは定期的にお手入れを行ってください。お手入れをおこたると、室内の空気の汚れや結露の原因になります。
 - 換気ユニット内のフィルター枠を引き出す時、ホコリや虫などが落下することがありますので、目などに入らないよう注意してください。
 - 長期間使用しないときは、壁スイッチ(オプション)のON/OFFスイッチまたは分電盤のブレーカーを切ってください。漏電や火災のおそれがあります。

お願い

換気ユニットに関して

- 雷が発生したときは、換気ユニットの壁スイッチ(オプション)のON/OFFスイッチまたは分電盤のブレーカーを切ることをおすすめします。機械が故障するおそれがあります。
- 床下設置の場合、お手入れの際に換気ユニット本体の上に乗る、手をかけるなど、体重がかからないよう注意してください。換気ユニットの故障につながるおそれがあります。

システム全般に関して

- 暖房は全館で行ってください。局所暖房の場合、暖気が空気の冷たい部屋に入り結露の原因になります。
- 製品を安全にご使用いただくため、給排気フードにガタつきや歪みがないか、温度ヒューズが切れて防火ダンパーが閉まっていないか(防火ダンパー付の場合)などを定期的に点検してください。

壁スイッチ(オプション)に関して

- シンナー、アルカリ性洗剤、クレンザー、殺虫剤などは使用しないでください。故障や変形・変色の原因となります。
- 扉は必要以上に強く開けないでください。扉が破損するおそれがあります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。



【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】15年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」

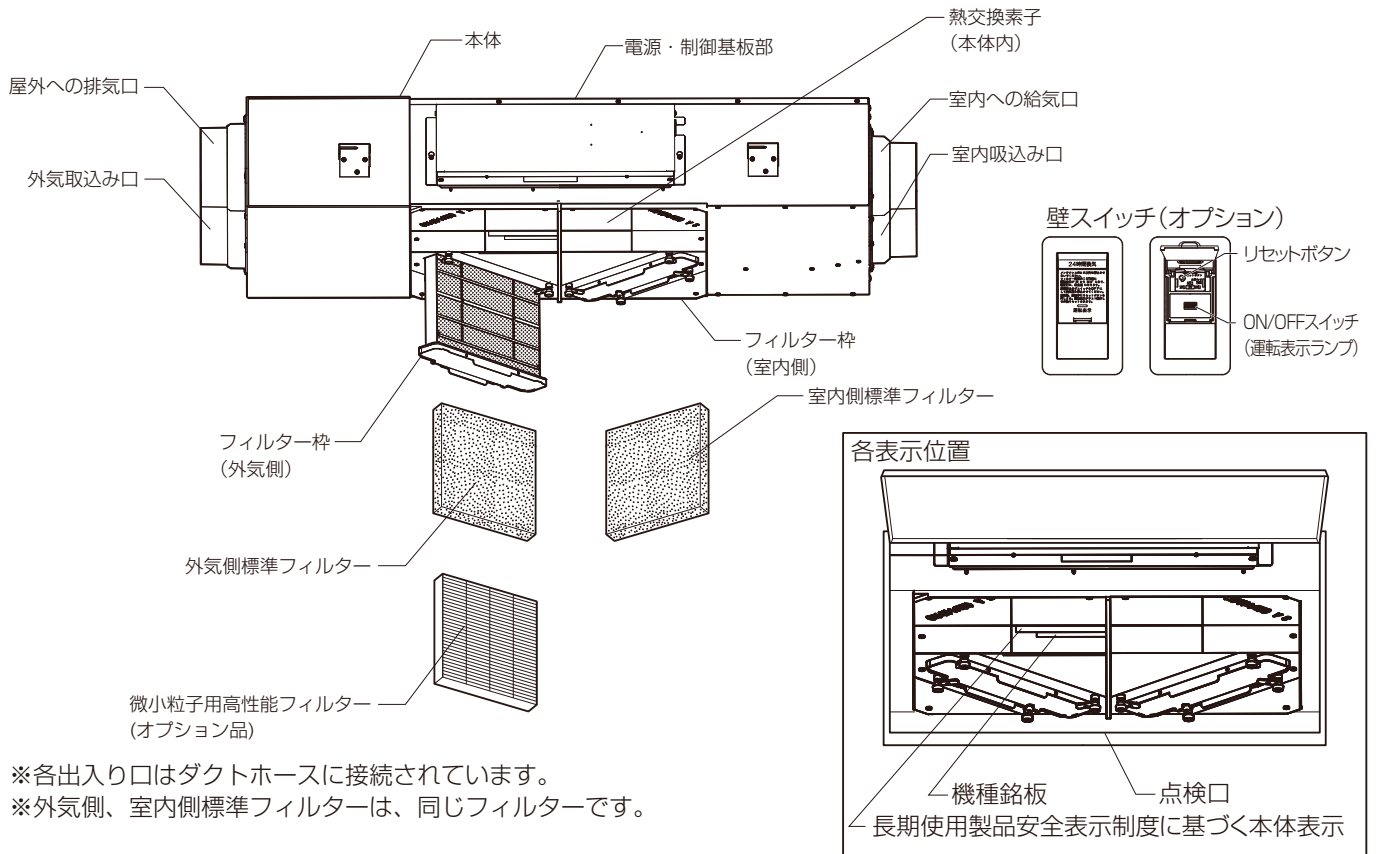
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 日本電機工業会自主基準 HD-116-4による

環境条件	電圧	単相100Vまたは単相200V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzまたは/および60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の工事説明書による
負荷条件		定格負荷 (換気量)	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	常時換気 (24時間連続換気)8760時間/年	

各部の名称とはたらき

高効率全熱交換換気ユニット



※各出入り口はダクトホースに接続されています。
※外気側、室内側標準フィルターは、同じフィルターです。

【 外気取込み口 】

●新鮮な空気をここから吸気します。

【 室内への給気口 】

●吸気した外気を熱交換して室内温度・湿度に近づけた状態で、ここから給気します。

【 室内吸込み口 】

●室内の汚れた空気をここから取込みます。

【 屋外への排気口 】

●室内の汚れた空気をここから排気します。

【 熱交換素子 】

●排気する室内空気の熱エネルギーをここで回収し、室内へ供給する空気に熱エネルギーを与えます。

【 外気側標準フィルター 】

●取込む外気に含まれる粉塵、花粉などをこのフィルターで除去し、きれいな空気にします。

【 室内側標準フィルター 】

●室内の空気に含まれるチリやホコリを除去し、機械内部を保護します。

【 電源・制御基板部 】

●運転に必要な電気を供給し、ファンの円滑な回転を制御する部分です。

【 微小粒子用高性能フィルター 】 (オプション)

●取込む外気に含まれる微小粒子 (2.0 μ m) を約90%捕集できる高性能フィルター。

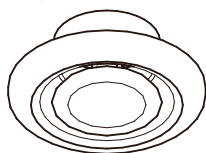
【 壁スイッチ 】 (オプション)

●扉の中に運転表示ランプがついたON/OFFスイッチと、フィルター清掃お知らせ時期設定スイッチとリセットボタンがあります。ランプの点灯状況で運転の状況とフィルターのお手入れの時期をお知らせします。

エコエア90

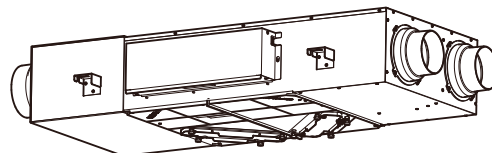
給気レジスター

- 屋外の新鮮な空気を換気ユニット内で室内の温湿度に近づけた後、ダクトを通してリビングなどの居室に供給します。各所の必要な給気量をバランスよくはかるため、絞り調整がされています。このため、お客さまの手によって調整はしないでください。

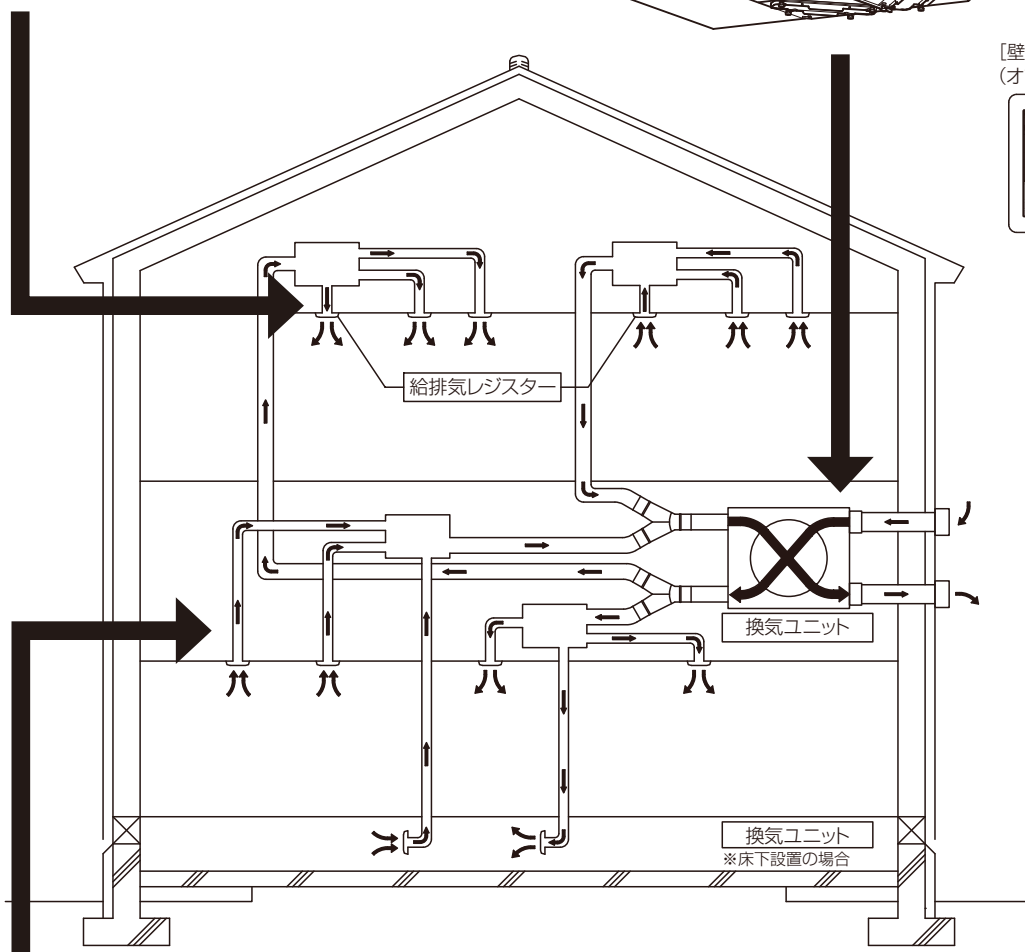


換気ユニット

- 室内の汚れた空気を集約し室外に排出する際に、排気に含まれる熱や水分（湿度）を回収し、室内に供給する新鮮な空気（外気）に移します。外気に含まれる粉塵、花粉などを除去する外気フィルターと室内の空気に含まれるチリやホコリを除去し、機械内部を保護する室内側フィルターが設置されています。
- ※カタログなどで記載されている「温度交換効率：90%」という表示は、本ユニットの試験成績（[50m³/h時] 93.0%～[176m³/h時] 81.2%）によるものです。（JIS B 8628 に準拠）

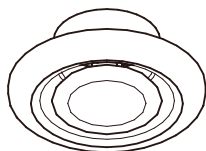


【壁スイッチ】
（オプション）



排気レジスター

- ※給気レジスターと同じもの。
- 室内の汚れた空気をトイレやキッチンなどからダクトを通して排出させます。各所の必要な排気量をバランスよくはかるため、絞り調整がされています。このため、お客さまの手によって調整はしないでください。

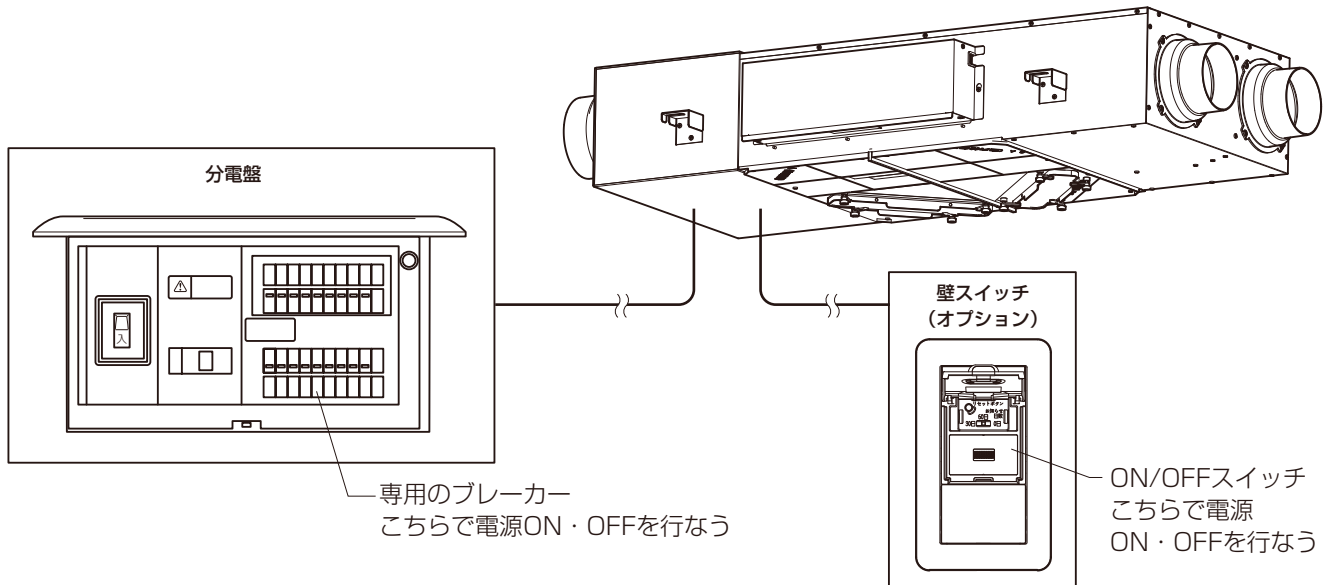


操作方法

※本製品は 365 日・24 時間運転が原則です。室内に新鮮な空気を供給するとともに、汚れた空気を屋外に排出するため、常に運転するようにしてください。

運転のしかた

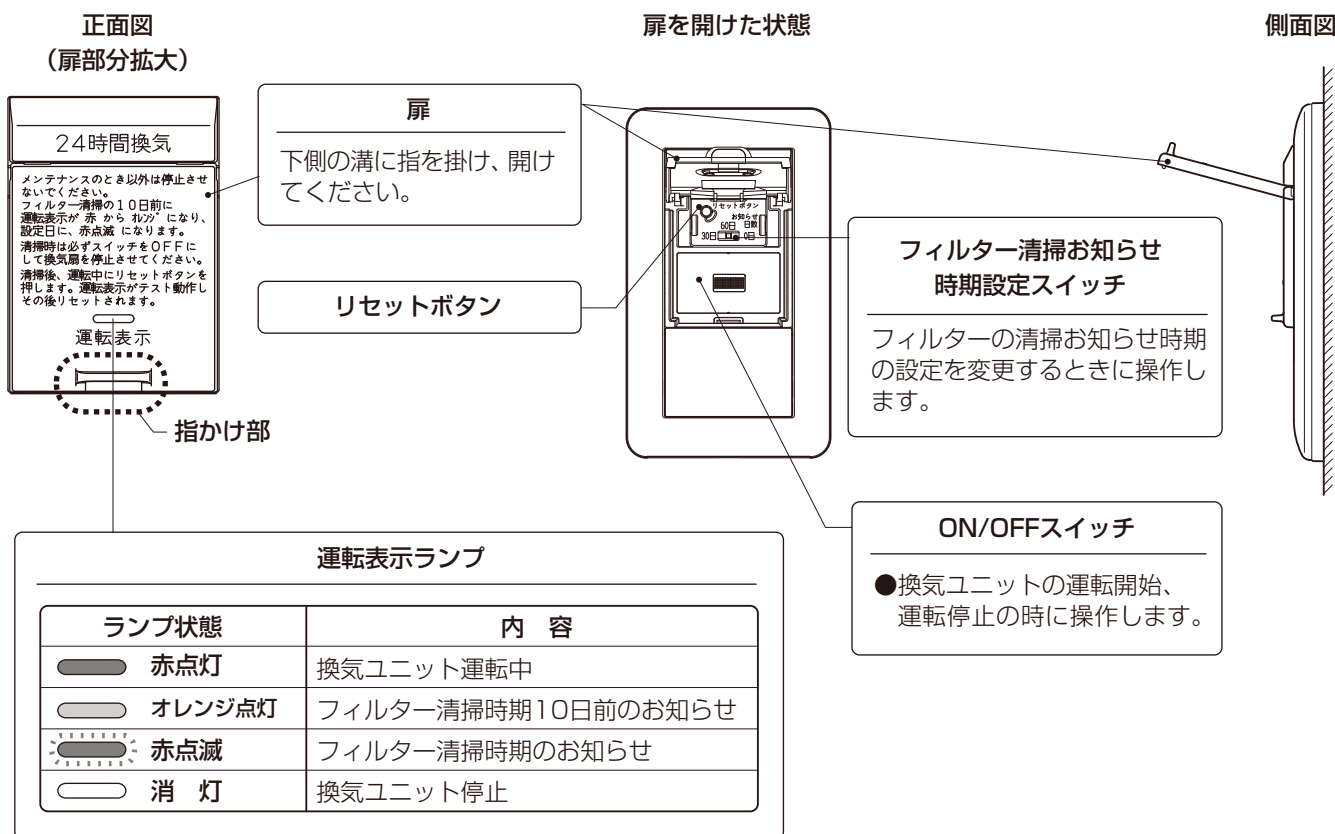
- 運転を始めるには、専用のブレーカーを入れれば、換気ユニットの電源が入ります。**
(※換気ユニットには、電源の ON・OFF スイッチはありません。)
(※壁スイッチ (オプション) が設置されている場合は、ブレーカーと壁スイッチの両方を ON の状態にしてください。)
…給気レジスターから空気が静かに出ます。
- 運転を停止するには、換気ユニットの専用ブレーカーを切ります。**
(※壁スイッチ (オプション) が設置されている場合は、ブレーカーか壁スイッチを OFF の状態にしてください。)
…給気レジスターから空気が出なくなります。



※ブレーカーを入れているのに運転が停止している場合は、本体の故障・寿命が考えられます。その場合は、本説明書の『故障時の処置』にしたがってください。(特に激しい雷があった後は、運転音が生きているかどうかを必ず確認してください。)

壁スイッチ（オプション）の操作方法

- 扉を上に向けて、各操作を行います。
下側の指かけ部に指を掛け、開けてください。（必要以上に強く開けないでください。扉が破損するおそれがあります）
誤操作防止と、壁スイッチ（オプション）の破損防止のため、通常は扉は閉めておいてください。
- 壁スイッチ（オプション）の扉内のON/OFFスイッチで換気ユニットの運転・停止が可能です。
- ON/OFFスイッチ上の運転表示ランプにより、換気ユニットの運転状態およびフィルター清掃時期の確認をすることができます。
（扉を閉めている状態でも、運転表示窓から、運転表示ランプを確認することができます。）
- フィルター清掃を行った後は、扉内のリセットボタンを押してください。
運転表示ランプが下記の動作をした後、フィルター清掃時期のお知らせランプの状態が赤点灯状態に戻ります。
（動作：赤点灯⇒オレンジ点灯⇒赤点滅⇒赤点灯）
- フィルター清掃のお知らせ時期は60日（2ヶ月）に設定されていますが、フィルターの汚れ具合に応じて扉内のフィルター清掃お知らせ時期設定スイッチで、30日（1ヶ月）または90日（3ヶ月）に変更することができます。
設定変更時、30日（1ヶ月）の場合は1回、60日（2ヶ月）の場合は2回、90日（3ヶ月）の場合は3回、運転表示ランプが点滅（オレンジ）します。
- ON/OFFスイッチをON状態で設定日を切り替えると、切り替えた設定日でリセットスタートします。
- 経過日数は、ON/OFFスイッチを途中でOFFにしても積算されます。

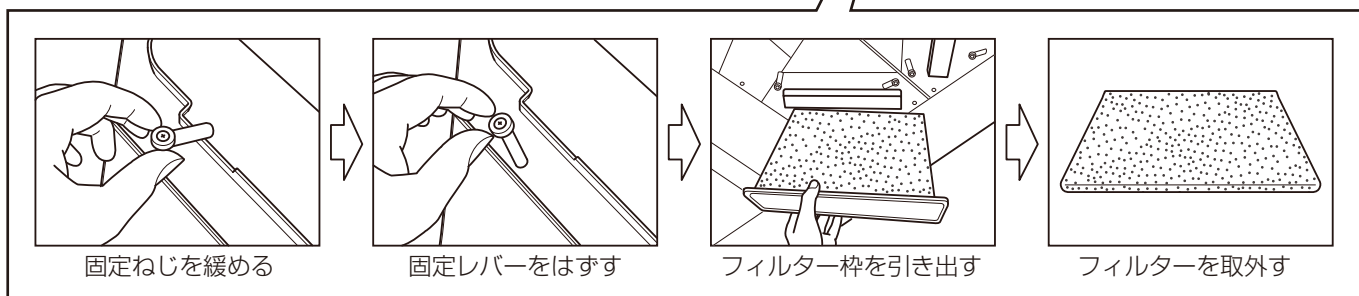
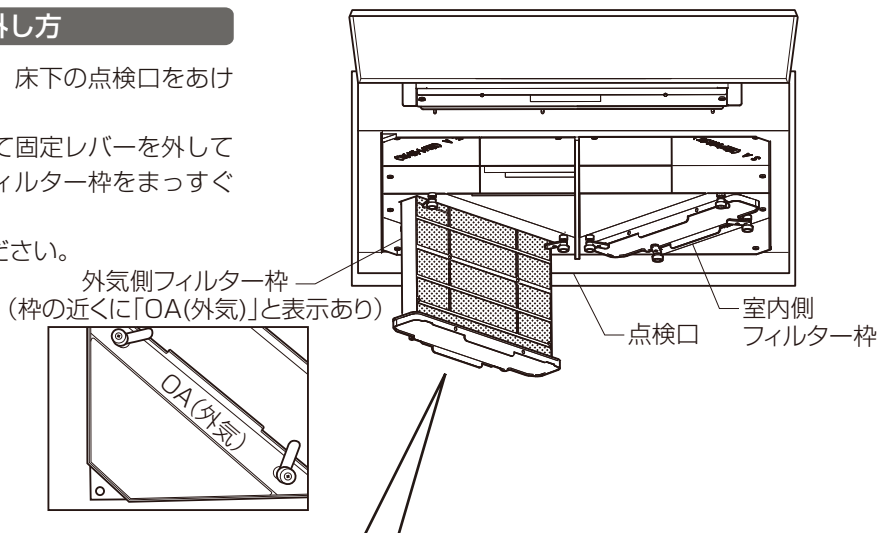


お手入れのしかた

- フィルターのお手入れは、2ヵ月に1度を目安に行ってください。
ただし、住み始めて2ヵ月間は、2週間に1回の清掃を行ってください。フィルターの交換は2年を目安に新しいフィルターと交換してください。
- ※ 交換用のフィルターの仕様は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
(交換用のフィルターに同梱されている手順書に従い、お手入れをしてください。)
- お手入れは、壁スイッチ(オプション)のON/OFFスイッチまたはブレーカーを切ってから行ってください。
※ 電源線にぬれた手で触れないでください。
※ 電源線を引き抜かないでください。
- お手入れの際は、しっかりした台を足場に使用し、ゴム手袋を着用して、ケガのないよう気を付けて作業してください。

1 フィルターの取外し方

- ① 本体が設置してある天井または、床下の点検口をあけてください。
- ② フィルター枠の固定ねじを緩めて固定レバーを外してから外気フィルターと室内側フィルター枠をまっすぐ引き出してください。
- ③ フィルターを枠から取外してください。



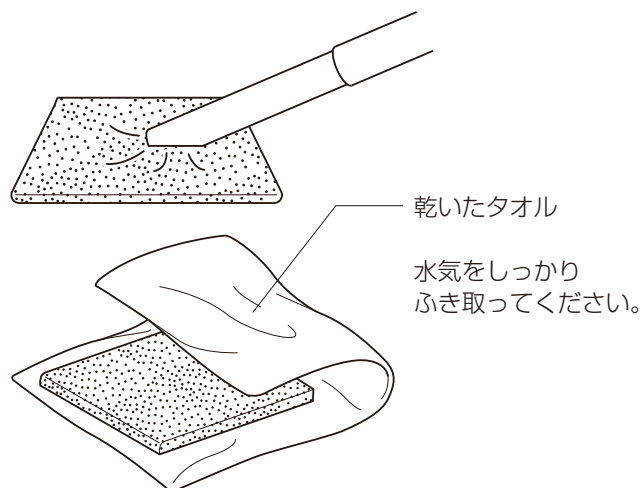
※ 上図は天井に点検口がある場合を示しています。床下に点検口がある場合は、上下逆になります。

お願い

- 床下設置の場合、換気ユニット本体の上に乗る、手をかけるなど、体重がかからないよう注意してください。
換気ユニットの故障につながるおそれがあります。
- フィルター枠を引き出す時、ホコリや虫などが落下することがありますので、目などに入らないよう注意してください。

2 フィルターの清掃

- ① 掃除機でフィルター両面のホコリを取り除いてください。
- ② フィルターは水洗いが可能です。
弱い水流で洗い流してください。
汚れが落ちない場合は中性洗剤を入れた水またはぬるま湯に浸して洗ってください。
水洗い後、水切りを行い乾いたタオルで全体を包むようにして水気をふき取ります。
※ フィルターの水洗いは外気温度が0℃以下の場合、凍結および結露し本体から水が滴下するおそれがありますので、水気をしっかりふき取ってください。



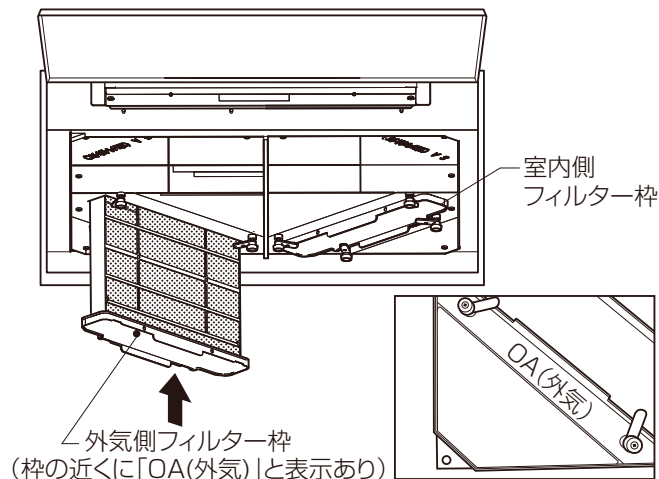
お願い

- フィルターはしぼらないでください。しぼると変形して元に戻らなくなり、ホコリや虫などを十分に取除けなくなります。

3

フィルターの取付け方

- ① フィルターを枠に入れ、フィルター枠を元の場所にまっすぐ奥までしっかり差込んでください。
 - ② フィルター枠を固定レバーでおさえ、固定ねじを締めてください。
 - ③ フィルター枠を差込んだ後、運転を開始して異常音がないか部屋の給気レジスターから風が正常に出ているか確認してください。
 - ④ 壁スイッチ（オプション）が設置されている場合、壁スイッチのリセットボタンを押して運転表示ランプが赤色に点灯するのを確認してください。
- ※壁スイッチは、水をかけたり、ぬれた手で扱わないでください。感電やショートするおそれがあります。



お手入れ上のお願い

- 外気温が低下した場合、製品に水滴がついたり滴下する場合がありますが故障ではありません。製品に付着した水滴はふき取ってください。

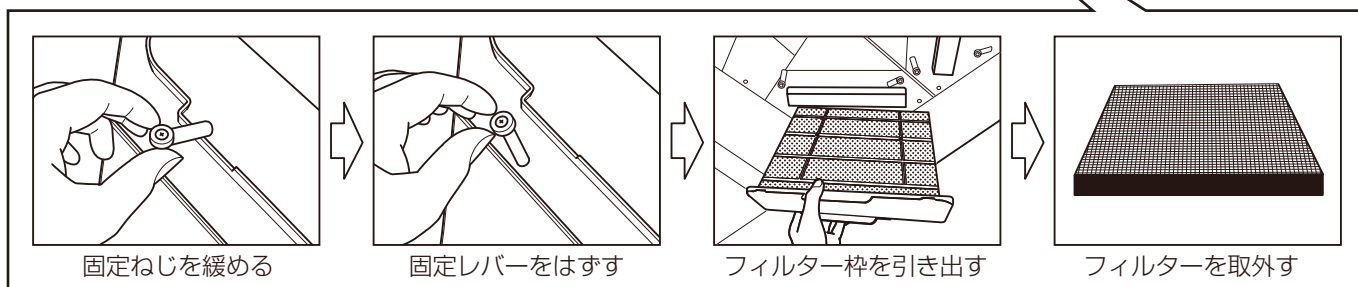
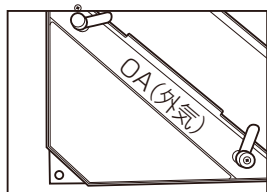
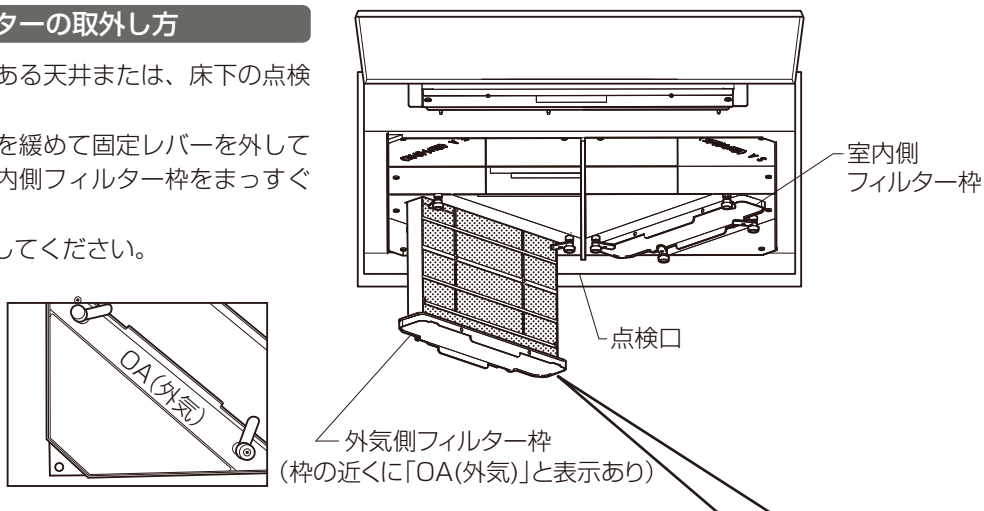
<微小粒子用高性能フィルター(オプション)の交換のしかた>

- 微小粒子用高性能フィルター（以下、高性能フィルター）は、取り込む外気に含まれる微小粒子(2.0 μ m)を約90%捕集できます。
 - 高性能フィルターのお手入れは、2ヵ月に1度を目安に行ってください。ただし、住み始めて2ヵ月間は、2週間に1回の清掃を行ってください。高性能フィルターの交換は、2年を目安に新しいフィルターと交換してください。（使用環境により交換の時期は異なります。）
- ※交換用のフィルターの仕様は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。（交換用のフィルターに同梱されている手順書に従い、お手入れをしてください。）

1

高性能フィルターの取外し方

- ① 換気ユニットが設置してある天井または、床下の点検口をあけてください。
- ② フィルター枠の固定ねじを緩めて固定レバーを外してから外気フィルターと室内側フィルター枠をまっすぐ引き出してください。
- ③ フィルターを枠から取外してください。



※上図は天井に点検口がある場合を示しています。床下に点検口がある場合は、上下逆になります。

お願い

- 床下設置の場合、換気ユニット本体の上に乗る、手をかけるなど、体重がかからないよう注意してください。換気ユニットの故障につながるおそれがあります。
- フィルター枠を引き出す時、ホコリや虫などが落下することがありますので、目などに入らないよう注意してください。

2

高性能フィルターの清掃

【高性能フィルターの清掃】

①掃除機で表側のフィルター側（黒いフィルター側）から、ほこりやゴミなどを取り除いてください。

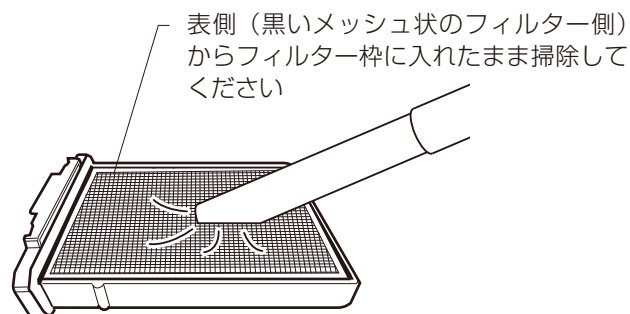
※プリーツフィルター側（白いフィルター側）からの掃除は不要です。

実施するとフィルター性能が落ちる可能性があります。

※フィルターは水洗いしないでください。

プリーツフィルターは帯電フィルターのため、水洗いすると性能が劣化いたします。

※掃除いただく際は、フィルターはフィルター枠から出さないようにしてください。何度もフィルターをフィルター枠から出し入れすると、フィルターのパッキンが剥がれるおそれがあります。



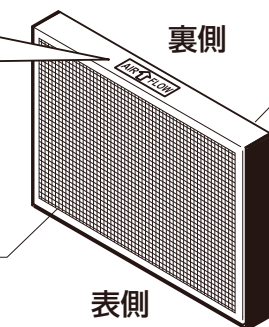
3

高性能フィルターの取付け方

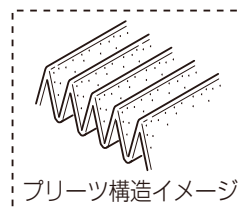
①高性能フィルターの表と裏を確認してください。



表側は、黒いメッシュ状のフィルターとなっています。



裏側のフィルターは、見た目プリーツ構造になっています。



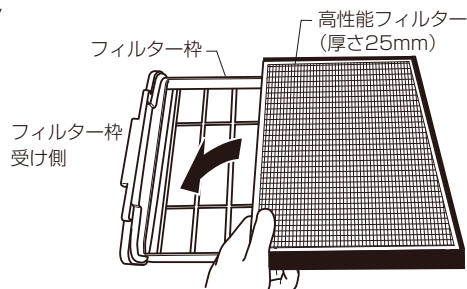
②高性能フィルターの表側が見えるように、また矢印が印刷されている面（パッキンがない面）をフィルター枠の受け側にしてフィルター枠にはめ込み、フィルター枠を元の場所にまっすぐに奥まで差込んでください。

③フィルター枠を固定レバーでおさえ、固定ねじを締めてください。

④フィルター枠を差込んだ後、運転を開始してから異常音がないか部屋の給気レジスターから風が正常に出ているか確認してください。

⑤壁スイッチ（オプション）が設置されている場合、壁スイッチのリセットボタンを押して運転表示ランプが赤色に点灯するのを確認してください。

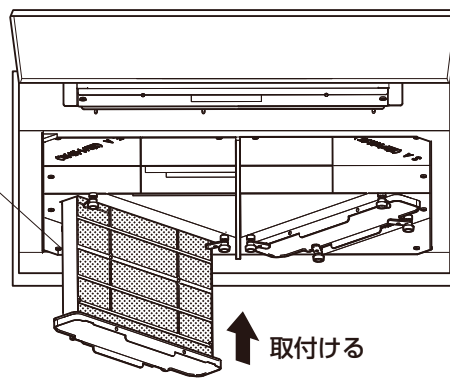
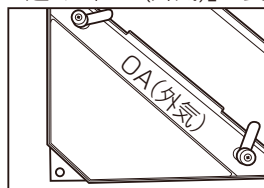
※壁スイッチは、水をかけたり、ぬれた手で扱わないでください。感電やショートするおそれがあります。



取付ける

（表側が見えるように、また矢印が印刷されている面（パッキンがない面）をフィルター枠の受け側にしてフィルター枠にはめ込む）

外気側フィルター枠
（枠の近くに「OA(外気)」と表示あり）

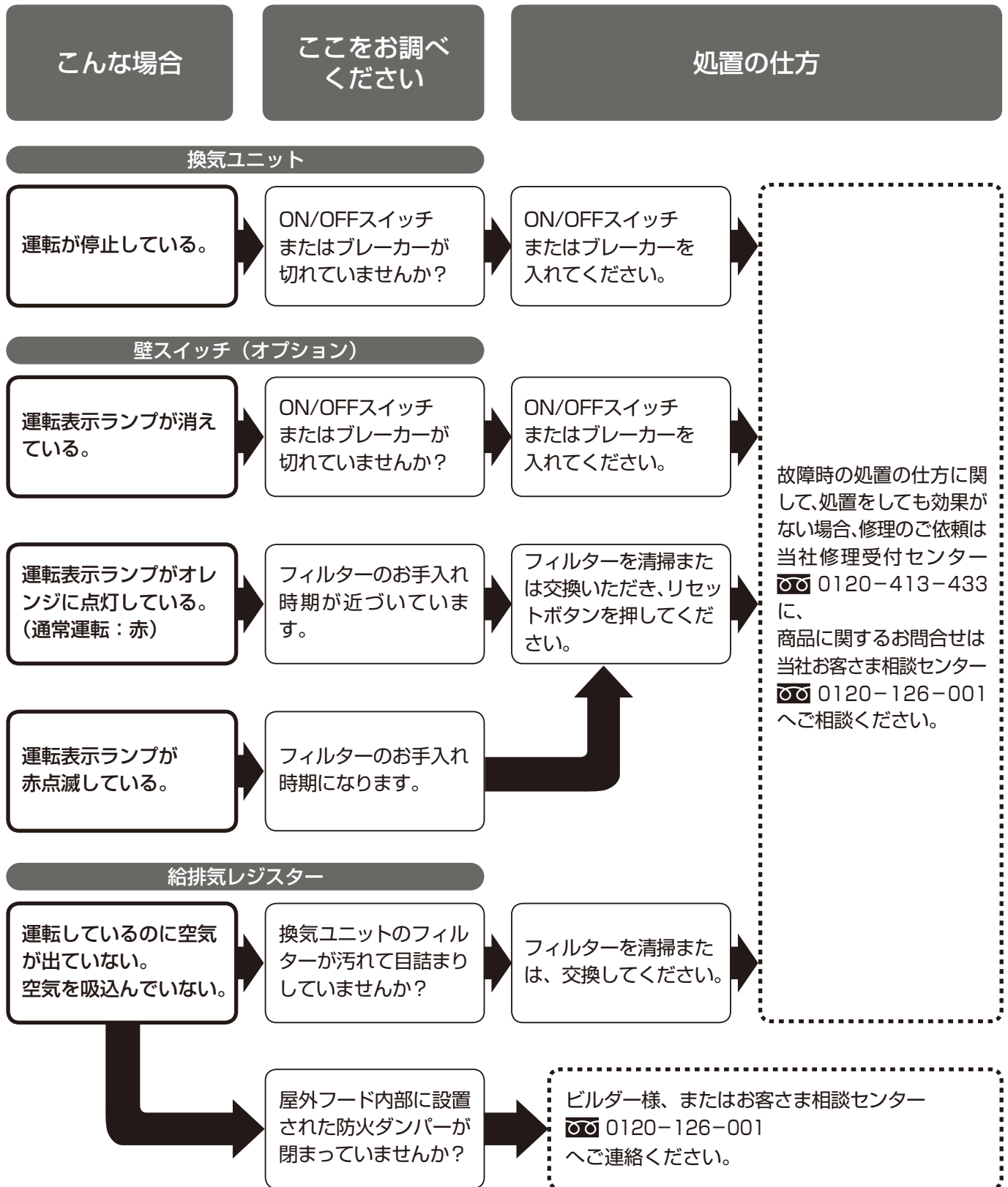


※上図は天井に点検口がある場合を示しています。床下に点検口がある場合は、上下逆になります。

お願い

●高性能フィルターは、水洗いなどのお手入れをせず、交換後（ご使用済み）のフィルターは、各自治体の指示に従って廃棄してください。

故障時の処置



アフターメンテナンスについて

保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**■保証書**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認くださいの上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又は LIXIL 修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥ LIXIL 修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、LIXIL オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・ LIXIL 修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含みます。）の最低保有期間は、製造打ち切り後 10 年です。電装系部品については製造打ち切り後 7 年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打ち切り後 2 年としております。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXIL オフィシャルサイトよりご注文いただけます。

- LIXIL PARTS SHOP <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/default.aspx>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客様さま相談センター ☎ 0120-126-001 にご連絡ください。

2018年9月

保証書

BRK.NO

- 1.保証者…………… 株式会社LIXIL
2.保証の対象者…………… 住宅の所有者
3.保証内容…………… 取扱い説明書・本体ラベルなどの注意書きに示されている通りの正常な使用状態で故障した場合、本書により保証いたします。

保証期間		対象品
本体・他主要商品	1年	商品) ・換気ユニット ・給排気レジスター ・給排気フード (防火ダンパー付の場合、温度ヒューズを含む) ・ダクト

- 4.免責内容…………… 保証期間内でも次の場合には有料になります。
- a) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・異常電圧・その他の外部要因による故障・損傷および機能低下。
 - b) 当社が認めていない改造、不当な修理、調整による故障・損傷および機能低下。
 - c) 高温空気・炎・腐食物質の吸収による故障・損傷および機能低下。
 - d) 故障の原因が本システム以外の部分にあって、それを点検・修理した場合。
 - e) その他、当社の責に帰さない理由により生じた故障・損傷および機能低下。

- 5.保証の起点…………… 施工完了日

西 暦
年 月 日より

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ **0120-126-001** FAX. **03-3638-8447**

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ **0120-413-433** FAX. ☎ **0120-413-436**

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号 MAG-482E | 事業所コード TBZ8 | 2019.04.01発行

